

科目番号	BA105				
科目名	造林学				
担当教員	大住 克博（鳥取大学名誉教授）				
科目区分	森林生態学	人材養成の方針	即戦力	リーダー	地域貢献
対象学年	1年		授業形態	講義・演習	
開講時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	単位数
授業時間数	15		コマ	(30 単位時間)	
実務経験のある教員による授業科目	—	左の実務経験の内容		—	
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	—	左の実務経験の内容		—	
実務経験を活かした授業内容	—				

目的	育林体系や森林整備に関する知識と技術を修得する。	
概要	針葉樹人工林の植栽、保育を中心とした単層林施業から、広葉樹林施業、混交林施業、天然生林施業などの多様な森林の整備まで、造林技術のひとつをおりを履修する。	
キーワード	①森林づくりの基礎 ②更新 ③保育 ④間伐と密度管理 ⑤主要樹種の造林方法 ⑥育種と育苗 ⑦森林の評価方法	
関連する科目	森林生態学、造林学実習	
到達目標	<input type="radio"/>	森林林業の即戦力として活躍するための実践的な技能の習得
	<input type="radio"/>	森林林業の次代のリーダーとなるための専門知識及び技術の習得
	<input type="radio"/>	多自然地域の振興や課題解決に貢献するための幅広い知識及び技術の習得
評価方法	筆記試験100%	

授業計画	テーマ	講義内容
1～2	育林技術の基礎	(1) 針葉樹人工林の育林技術の概要 (2) 広葉樹林施業、混交林施業、天然生林施業など多様な森林整備の紹介
3～4	森林の更新	(3) 更新方法(人工造林と天然更新、実生苗と挿し木苗など) (4) 森林の伐採と更新
5～6	森林の保育	(5) 下刈、つる切り、除伐、枝打ち等保育作業の目的、効用、時期など (6) 間伐の目的と理論など
7～8	森林の密度管理	(7) 間伐方法の種類 (8) 密度管理手法と施業指針の作成
9～10	主要樹種の造林方法	(9) 主要針葉樹の適地と生理、特性、仕立て方 (10) 主要広葉樹の適地と生理、特性、仕立て方
11～12	育種と育苗	(11) 樹苗の養成 (12) 林木育種の概要
13～14	森林評価	(13) 森林評価の種類と方法 (14) 立木の評価(演習)
15	試験	

テキスト	講義の際に、資料を配布する。
参考書	林業技術ハンドブック、森林林業実務必携、ニューフォレストーズガイドなど
関連する資格	樹木匠補、森林情報士2級

備考	
----	--